

令和 6 年度 姫カツ実証事業 報告書



令和 7 年(2025年) 3 月
姫路市教育委員会 健康教育課

部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動移行に向けた環境の一体的な整備

令和6年度予算額
(前年度予算額)

32億円
28億円



方向性・目指す姿

- ✓ 地域の実情に応じた持続可能な多様なスポーツ・文化芸術環境を整備し、多様な体験機会を確保。
- ✓ 少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保。学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。
- ✓ 自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。
- ✓ 子供や大人、高齢者や障害者の参加・交流を推進する地域スポーツ・文化芸術活動の中に部活動を取り込む。ウェルビーイングの実現、まちづくりの推進。
- ✓ 「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、地域の実情に応じスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消。

事業内容

I. 地域クラブ活動への移行に向けた実証事業

12億円 (11億円)
15億円 [令和5年度補正予算額]

委託・拡充

各都道府県・市区町村の地域スポーツ・文化芸術活動の推進体制等の下で、コーディネーターの配置を含む運営団体・実施主体等の体制整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業を実施し、国において事業成果の普及に努めるとともに、全国的な取組を推進する。

(1) 地域クラブ活動への移行に向けた実証 ※取組例

- 体制整備**
 - 関係団体・市区町村等との連絡調整
 - コーディネーターの配置、地域学校協働活動推進員等との連携の在り方
 - 運営団体・実施主体の体制整備や質の確保
- 指導者の質の保障・量の確保**
 - 人材の発掘・マッチング・配置
 - 研修、資格取得促進
 - 平日・休日の一貫指導
 - ICTの有効活用
- 関係団体・分野との連携強化**
 - スポーツ協会、競技団体、文化芸術団体、大学、企業等
 - スポーツ推進委員、地域おこし協力隊
 - まちづくり・地域公共交通
- 面的・広域的な取組**
 - 地域クラブ活動の拡大
 - 市区町村等を超えた取組
- 内容の充実**
 - 複数種目、シーズン制
 - 体験型キャンプ
 - レクリエーション的活動
- 参加費用負担の支援等**
 - 困窮世帯の支援
 - 費用負担の在り方
- 学校施設の活用等**
 - 効果的な活用や管理方法

※ 実証事業2年目となる地域クラブ活動は、原則、国費だけでなく、一定の割合の受益者負担や行政・関係団体の自主財源からの支出、企業等からの寄付などとの組み合わせにより、持続的に活動することを前提とした仕組みを構築し、検証。

※ 平日・休日の一貫指導や市区町村を超えた取組など、地域の実情に応じた最適化・体験格差の解消を図る意欲的な取組を充実。

★ 重点地域における政策課題への対応

地域スポーツ・文化芸術環境の整備に先導的に取り組む地域を重点地域として指定し、政策課題への対応を推進する。

<主な政策課題>

- 多様なスポーツ・文化芸術体験の機会の提供
- 高校との連携やジュニアからシニアまでの多世代での取組
- スクールバスの活用や地域公共交通との連携
- 不登校や障害のある子供たちの地域の学びの場としての役割
- トレーナーの活用を含めた安全確保の体制づくり
- 企業版ふるさと納税等を含む民間資金の活用
- 体育・スポーツ・文化芸術系の大学生、パラアスリート等を含むアスリート・アーティスト人材等の活用
- 学校体育・教育施設の拠点化や社会体育・教育施設との一体化などによる地域スポーツ・文化芸術の活動拠点づくり
- 動画コンテンツ等の活用
- 多様なニーズに対応した大会の開催 等

(2) 課題の整理・検証、地域クラブ活動のモデル・プロセスの分析、地域クラブ活動の整備促進等

- 事業成果の普及方策、地域クラブ活動の整備の進展に伴う新たな課題の整理・解決策の検討
- 運営形態の類型や競技・分野ごとの地域クラブ活動のモデル・プロセス、組織マネジメント等の分析・検証
- 単一自治体での対応が困難な場合の地域クラブ活動の整備促進方策の検討 等

II. 中学校における部活動指導員の配置支援

18億円 (14億円)

補助・拡充

各学校や拠点校に部活動指導員を配置し、教師に代わる指導や大会引率を担うことにより、生徒のニーズを踏まえた充実した活動とする。(補助割合：国1/3、都道府県1/3、市区町村1/3) ※1

部活動指導員の配置を充実【16,013人(運動部：13,000人、文化部：3,013人)】

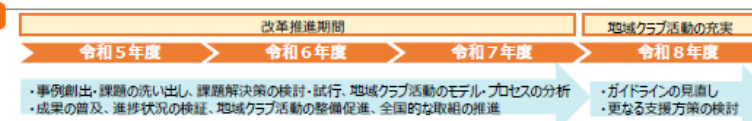
III. 地域における新たなスポーツ環境の構築等

3億円 (3億円)

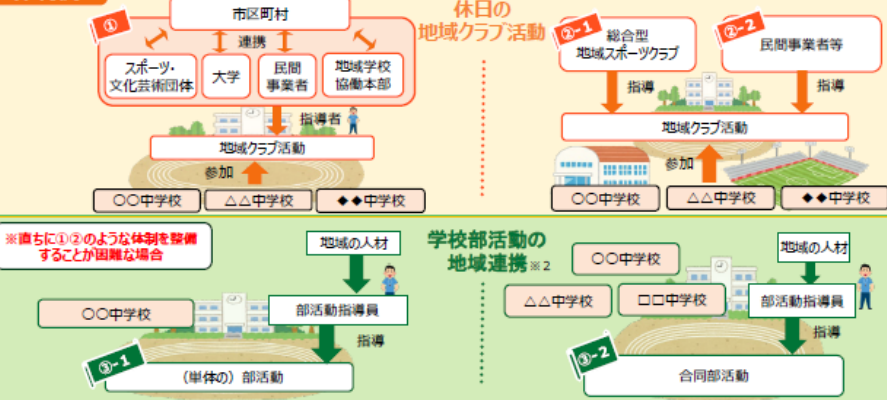
補助・委託

- 上記の施策を支える新たなスポーツ環境の構築等のため、以下の取組を実施。
- 公立中学校の施設の整備・改修を支援(用具保管の倉庫設置、スマートロック設置に伴う扉の改修等)
 - 指導者養成のための講習会や暴力等の根絶に向けた啓発活動の実施等。
 - 大学生が卒業後も継続的に地域の中学生の指導に当たる仕組みを構築。
 - デジタル動画を活用した部活動・地域クラブ活動のサポート体制の構築(ポータル新設)

方向性



体制例



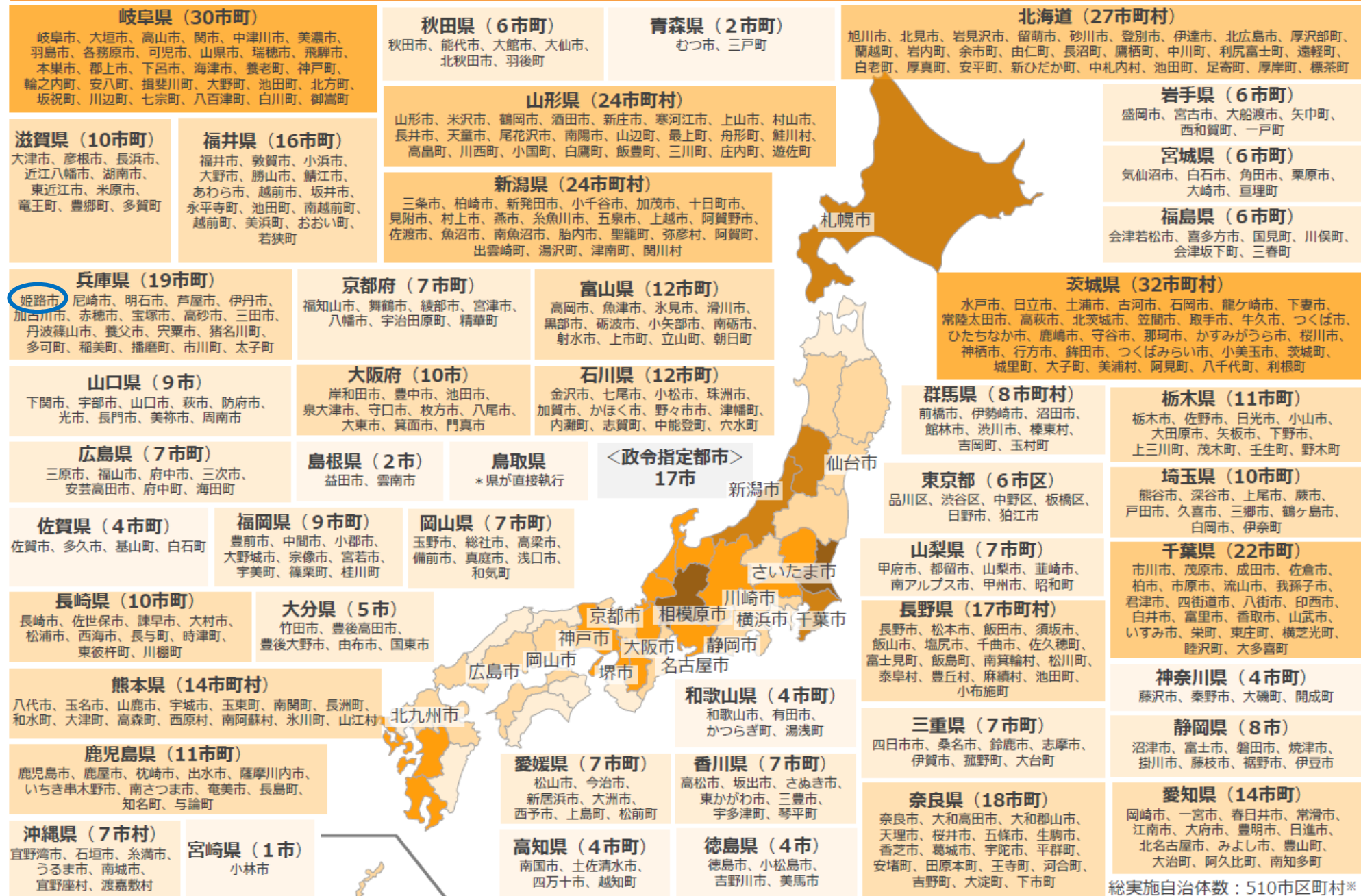
※1 補助割合について、都道府県又は指定都市の場合は、国1/3、都道府県・指定都市2/3。

※2 コミュニティ・スクール(学校運営協議会)等の仕組みも活用。

※ 本資料における「スポーツ」には障害者スポーツを、「文化芸術」には、障害者芸術を、「中学校」には特別支援学校中学部等を含む。体制例は、あくまでも一例である。

(担当：スポーツ庁地域スポーツ課、文化庁参事官(芸術文化担当))

令和6年度 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業実施予定先【R6年6月時点※】



総実施自治体数：510市区町村※

※各都道府県において実施予定先を最終的に決定するため、今後、増減の可能性あり。

地域クラブ活動への移行に向けた実証事業（重点地域における政策課題への対応）

事業内容

- 地域スポーツ環境の整備に先導的に取り組む地域を重点地域として指定。当該都道府県が主体となって関係者や専門家等で構成する推進会議を設置し、域内の市区町村等と協力して課題の解決に向けた取組を試行することで、他の地域でも参考となるような課題の解決策を見いだす。
- 取組の成果等についてシンポジウムや報告書等を通じて情報発信し、全国的な取組を推進。
- 本事業を実施する都道府県は、以下の10の政策課題から解決に向けて取り組むものを少なくとも3つ選択し取組を実施。

① 多様なスポーツ機会の提供 (マルチスポーツ環境の整備)	② 高校との連携やジュニアから シニアまでの多世代での取組	③ スクールバスの活用や 地域公共交通との連携	④ 不登校や障害のある子供たちの 地域の学び場としての役割	⑤ トレーナーの活用を含めた 安全確保の体制づくり
⑥ 体育・スポーツ系の大学生、 パラアスリート等を含む アスリート人材等の活用	⑦ 学校体育・教育施設の拠点化や 社会体育・教育施設との一体化など による地域スポーツの活動拠点づくり	⑧ 企業版ふるさと納税等を含む 民間資金の活用	⑨ 動画コンテンツ等の活用	⑩ 多様なニーズに対応した 大会の開催

採択状況

- 本事業の実施を希望する都道府県を公募し、有識者で構成する選定会議における審査を経て、7県（公募のあった全ての申請）を採択。

各県が設置する推進会議等

- ・課題の解決に向けて試行する
取組内容の具体化・進捗管理
- ・取組の分析・検証
- ・今後の改善策や方向性等の検討、
報告書のとりまとめ 等を行う



茨城県

土浦市、高萩市、つくば市、
守谷市、神栖市

取組課題：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

《主な取組内容（予定）》

- ・幅広い世代や団体等が交流できる機会の創出
- ・大学のアスリート人材の活用
- ・ガバメントクラウドファンディングの活用
- ・オンライン指導によるスポーツ体験機会の拡充

新潟県

長岡市※、村上市

取組課題：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

《主な取組内容（予定）》

- ・子供の多様なニーズに応じた活動機会の提供
- ・地域で活用している車両による移動手段の確保
- ・障害の有無に関係なく参加できるインクルーシブな活動の実施

兵庫県

神戸市、姫路市、尼崎市、
猪名川町、稲美町、播磨町

取組課題：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

《主な取組内容（予定）》

- ・不登校や障害のある子供を対象とした学び場の確保
- ・ICTを活用した指導者の研修・認定体制の構築
- ・学校と地域クラブ備品等の利用ルールを制定
- ・地域クラブ活動主体の大会運営等のあり方検証

香川県

東かがわ市、高松市

取組課題：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

《主な取組内容（予定）》

- ・スクールバスの活用、乗降車管理DX化
- ・企業版ふるさと納税、クラウドファンディングの活用
- ・試合数を均等に保証し、他県他市との交流の場としての大会を開催

福岡県

宗像市、桂川町

取組課題：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

《主な取組内容（予定）》

- ・県内の大学や企業を集めたコンソーシアムを設置し
人材・施設等を活用
- ・労務管理・会費徴収等の機能を一元化したアプリを
開発、地元企業からの協賛金を運営費として活用

熊本県

南関町、大津町

取組課題：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

《主な取組内容（予定）》

- ・生徒の志向や体力等に応じた複数種類の体験会の
開催
- ・大学生の活用、研修会の実施
- ・オンデマンド型指導やライブ型指導の実施

沖縄県

宜野湾市、石垣市※、うるま市、
糸満市、南城市、宜野座村

取組課題：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

《主な取組内容（予定）》

- ・小・中学生共通プログラムによるスポーツ活動
- ・県内外トレーナーと連携し、指導者研修会のプログラム
化・教本化を実施
- ・スマートロックの活用、学校体育施設のICT化

※県から当該自治体のスポーツ協会、総合型地域スポーツクラブに直接委託して実施予定。



令和6年度 **姫カツ** 実証事業(4月より実施)



多様なニーズに対応した
大会の開催



多様なスポーツ機会の提供
(マルチスポーツ環境の整備)



高校との連携やジュニアから
シニアまでの多世代での取組



多様なニーズに対応した
大会の開催



高校との連携やジュニアから
シニアまでの多世代での取組



競技

水泳競技

体操競技

軟式野球

剣道

実施団体

姫路水泳協会

姫路体操協会

白鷺ワンダース

安富道場

形態

合同練習型(全市)

部活移行型

部活移行型

部活移行型

参加者

106名(20校)

19名(2校)

8名(1校)

10名(1校)

指導者

22名

9名

5名

4名

実施日

月2～3回(全22回)

土曜日

土曜日

土曜日+平日

特色

レベル別グループ

市内唯一の体操部を移行

地域クラブを新規設立

既存の団体に移行



令和6年度 **姫カツ** 実証事業(12月より期間限定で実施)



③ スクールバスの活用や
地域公共交通との連携



② 高校との連携やジュニアから
シニアまでの多世代での取
組



⑥ 体育・スポーツ系の大学
生、
パラアスリート等を含む
アスリート人材等の活用



⑤ トレーナーの活用を含め
た
安全確保の体制づくり



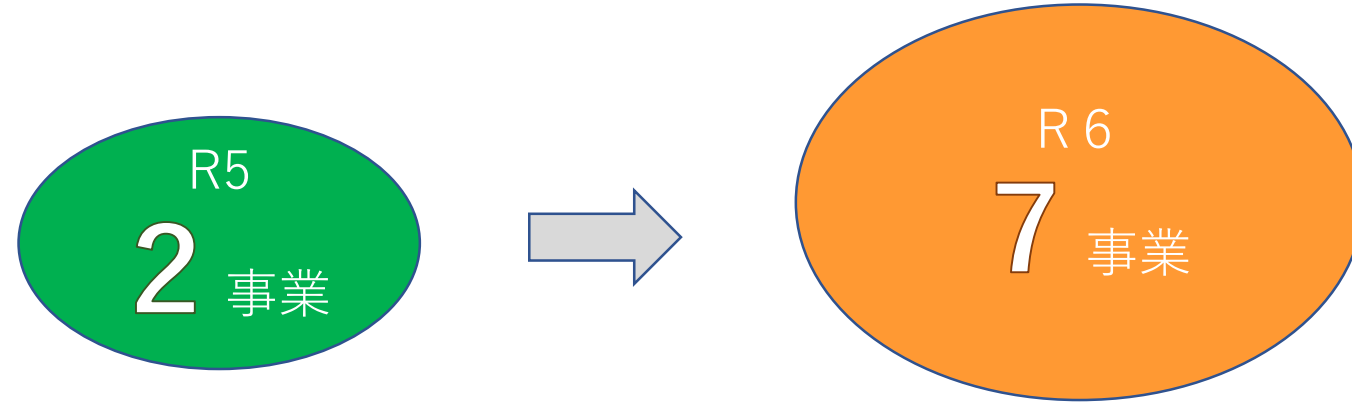
競技	吹奏楽	卓球	柔道
実施団体	市教委（指導者派遣） ＊部活動指導員が中心	市教委（指導者派遣） ＊夢前卓球協会の協力	姫路柔道協会
形態	合同練習型(2校)	合同練習型(3校)	合同練習型（全市）
参加者	39名(2校)	31名(3校)	31名(5校)
指導者	4名	7名	11名
実施日	土曜日（全8回）	土曜日（全4回）	土曜日（全3回）
特色	文化部の実証事業	スクールバスの活用実証	多世代型の活動

姫カツ 広報動画

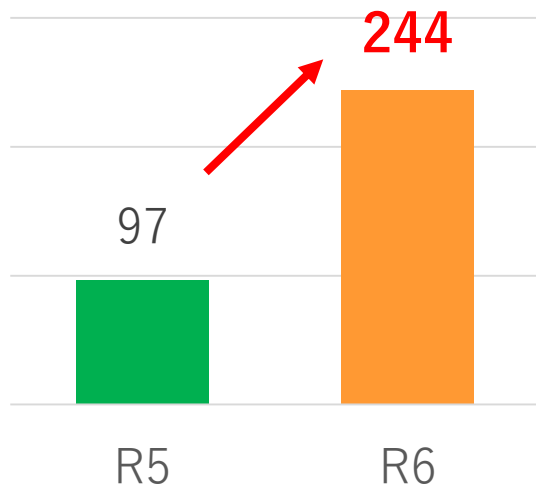




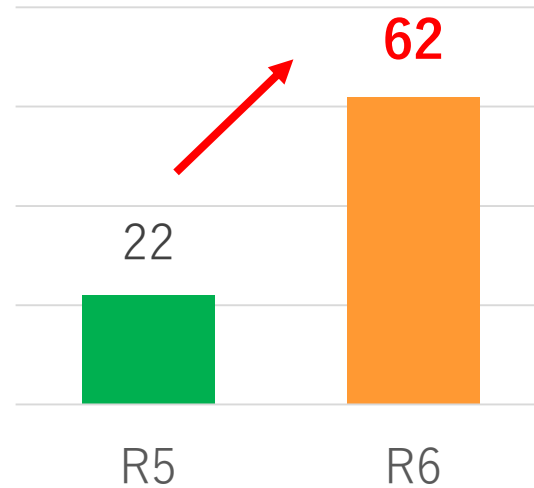
令和6年度 **姫カツ** 実証事業(昨年度からの推移)



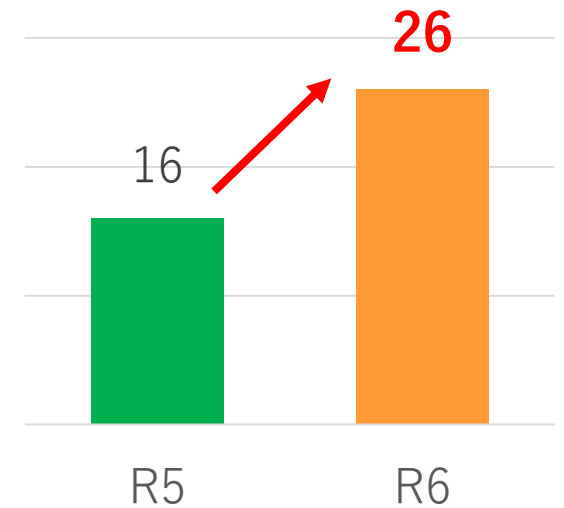
参加者



指導者



学校数



事後アンケート



1 調査目的

今年度に実施した姫カツ実証事業における成果と課題を検証し、
今後の姫カツの持続可能な運営体制等の構築のための方策を検討する。

2 調査対象 * 令和7年1月時点

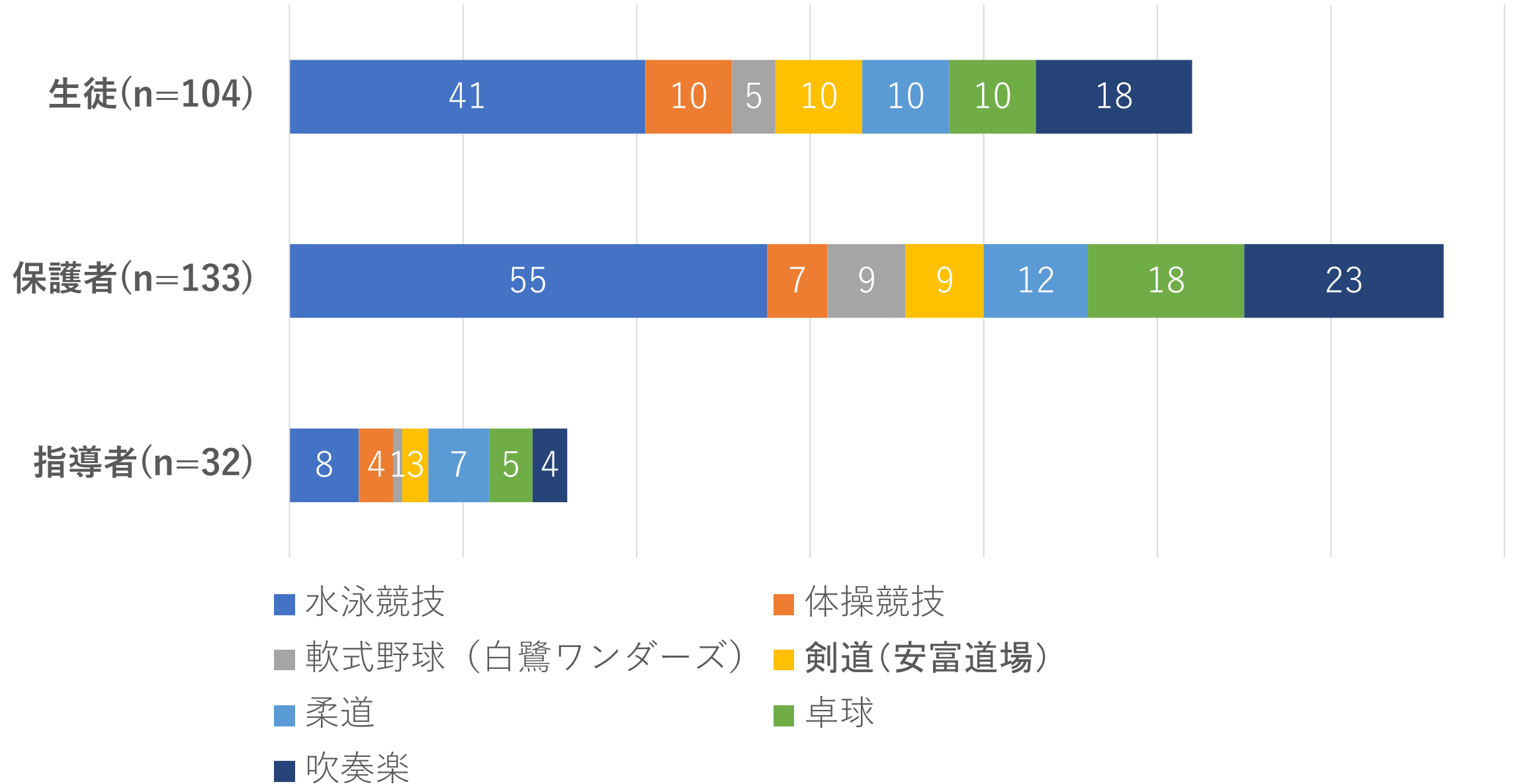
- (1) 参加生徒
- (2) 保護者
- (3) 姫カツ指導者
- (4) 参加校の部活動顧問 ※指導者として参加した(兼職兼業の許可を受けた)教職員は除く

3 調査方法 Microsoftフォームによるオンライン調査

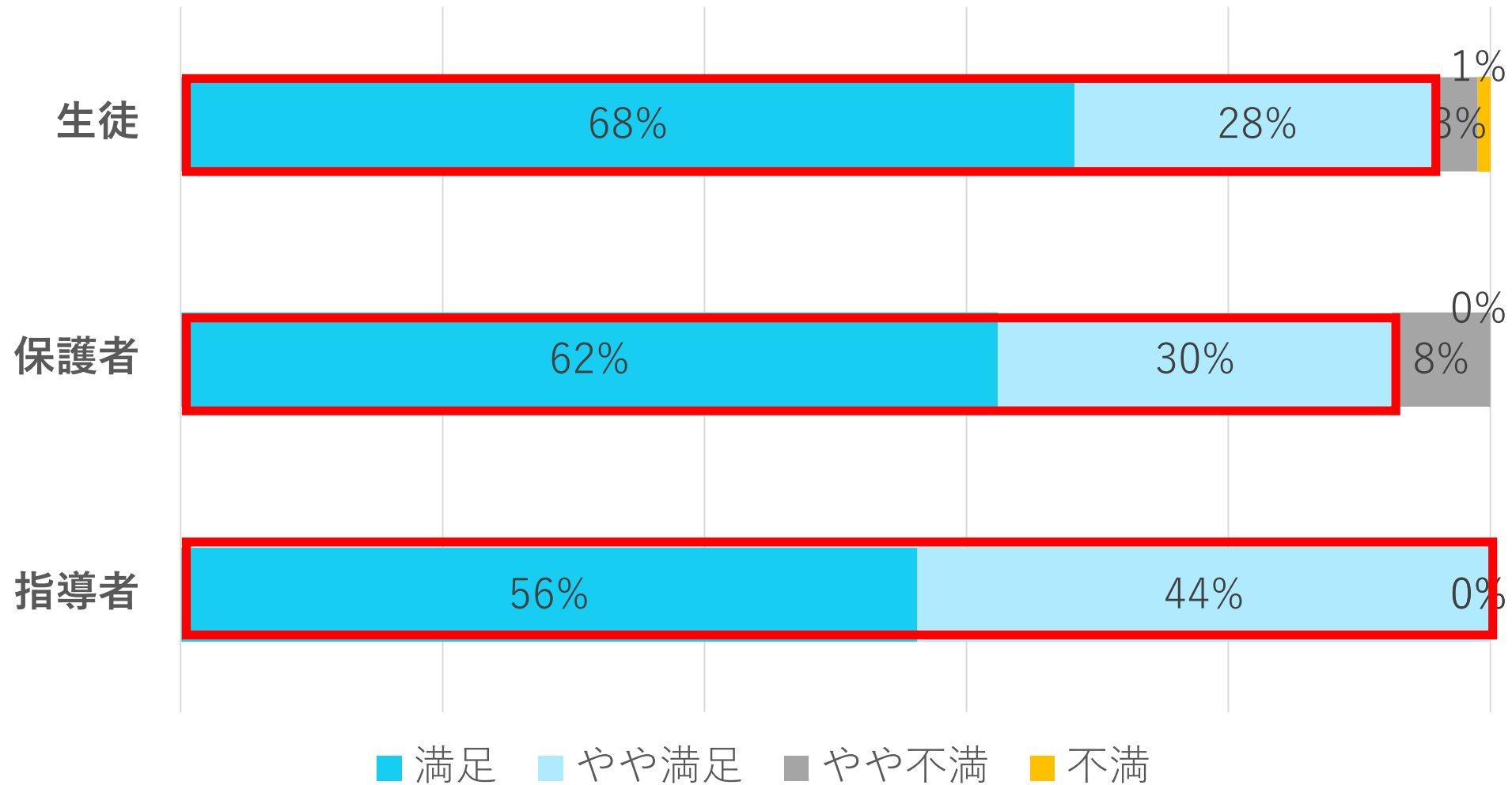
4 回答期間 令和7年1月25日(土)～2月12日(水)

- ## 5 回答数
- (1) 参加生徒 : 104名
 - (2) 保護者 : 133名
 - (3) 指導者 : 32名
 - (4) 部活動顧問 : 10名

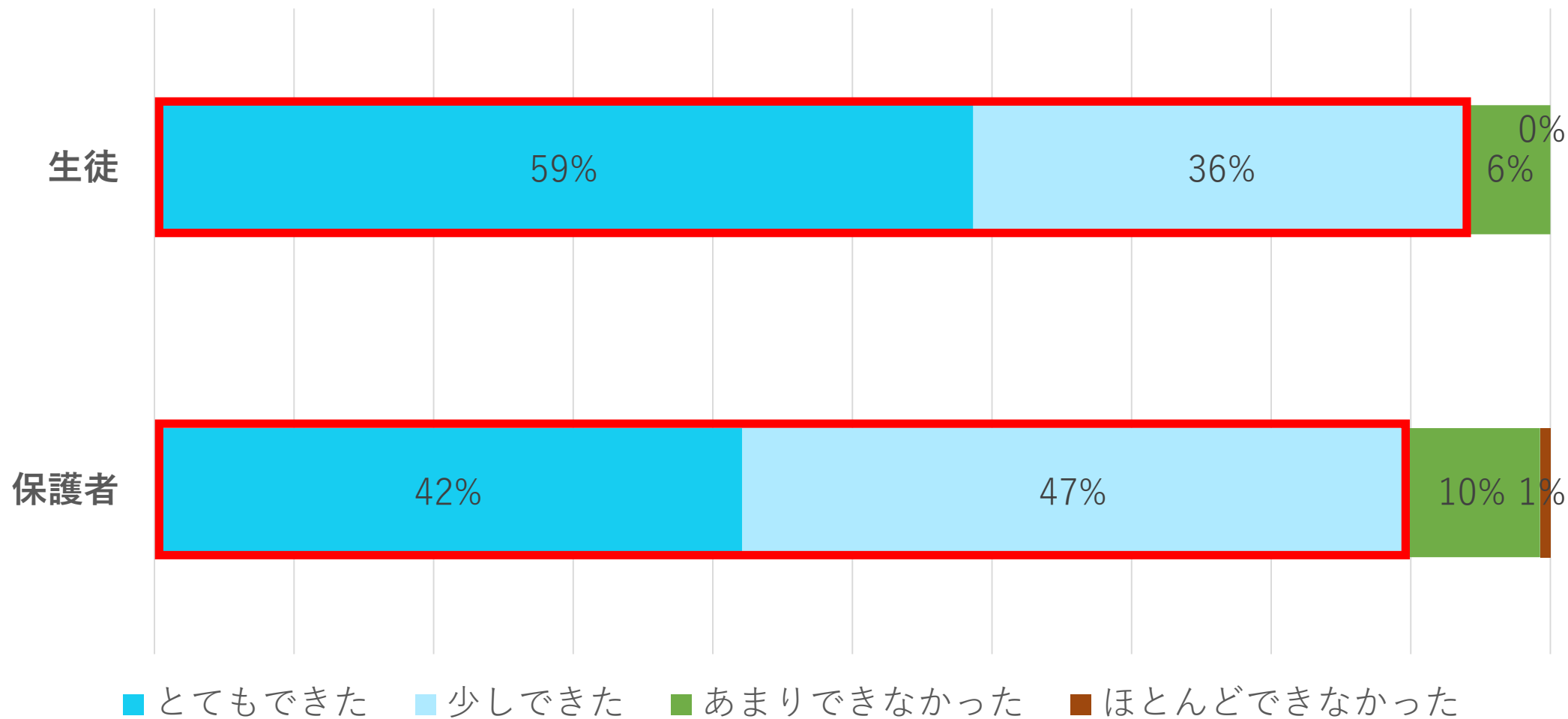
回答者数



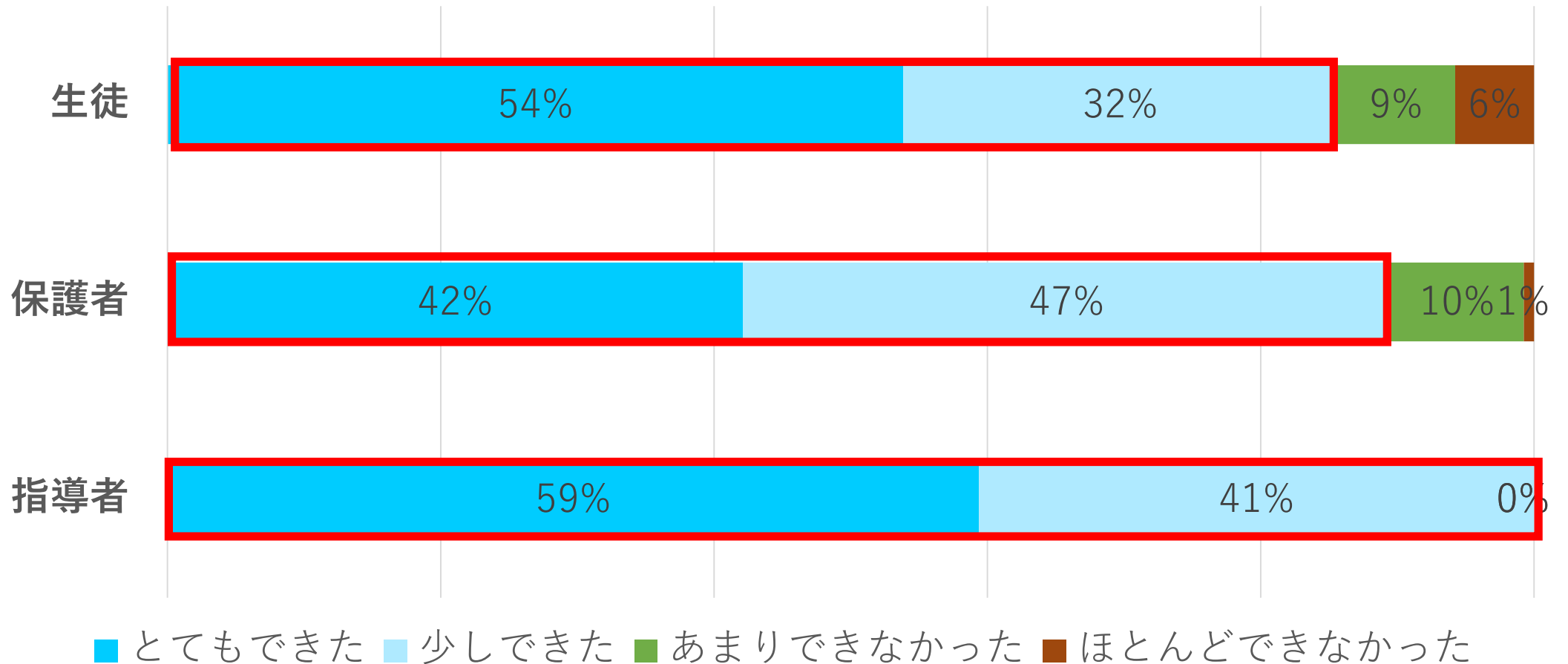
今年度の姫カツの活動に満足していますか？



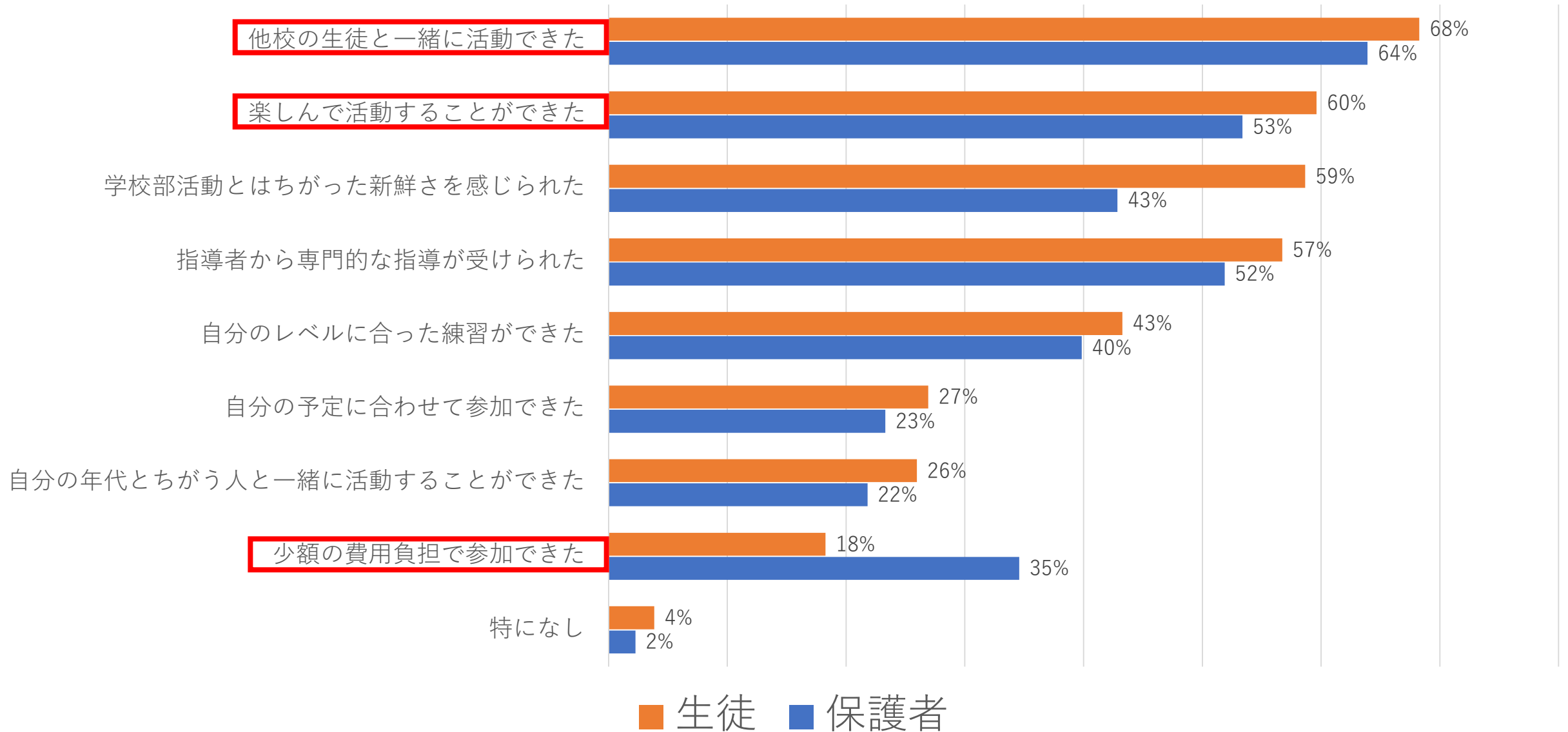
姫カツをとおして、自身の競技力や技能を上げることができましたか？



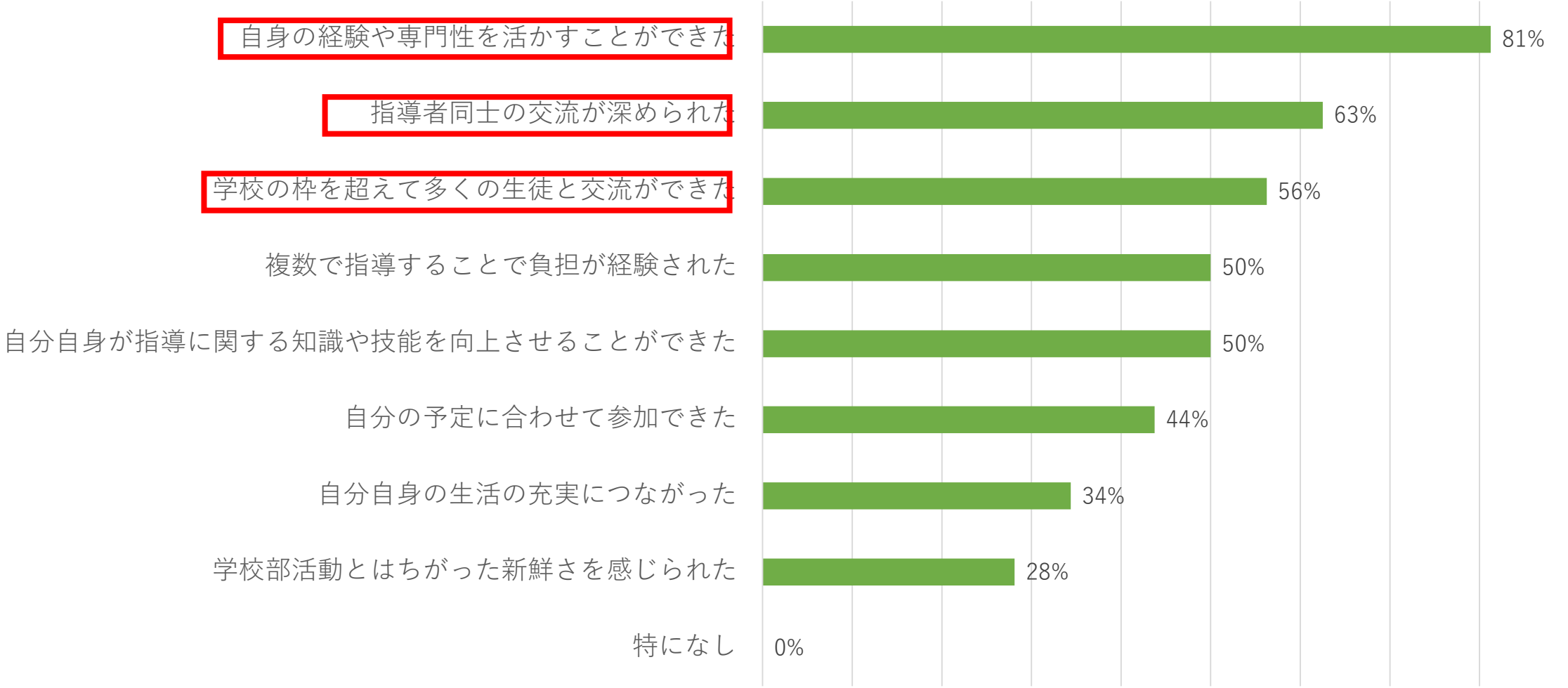
姫カツをとおして、自分の学校以外の生徒や指導者、
地域の人と交流を深めることができましたと思いますか？



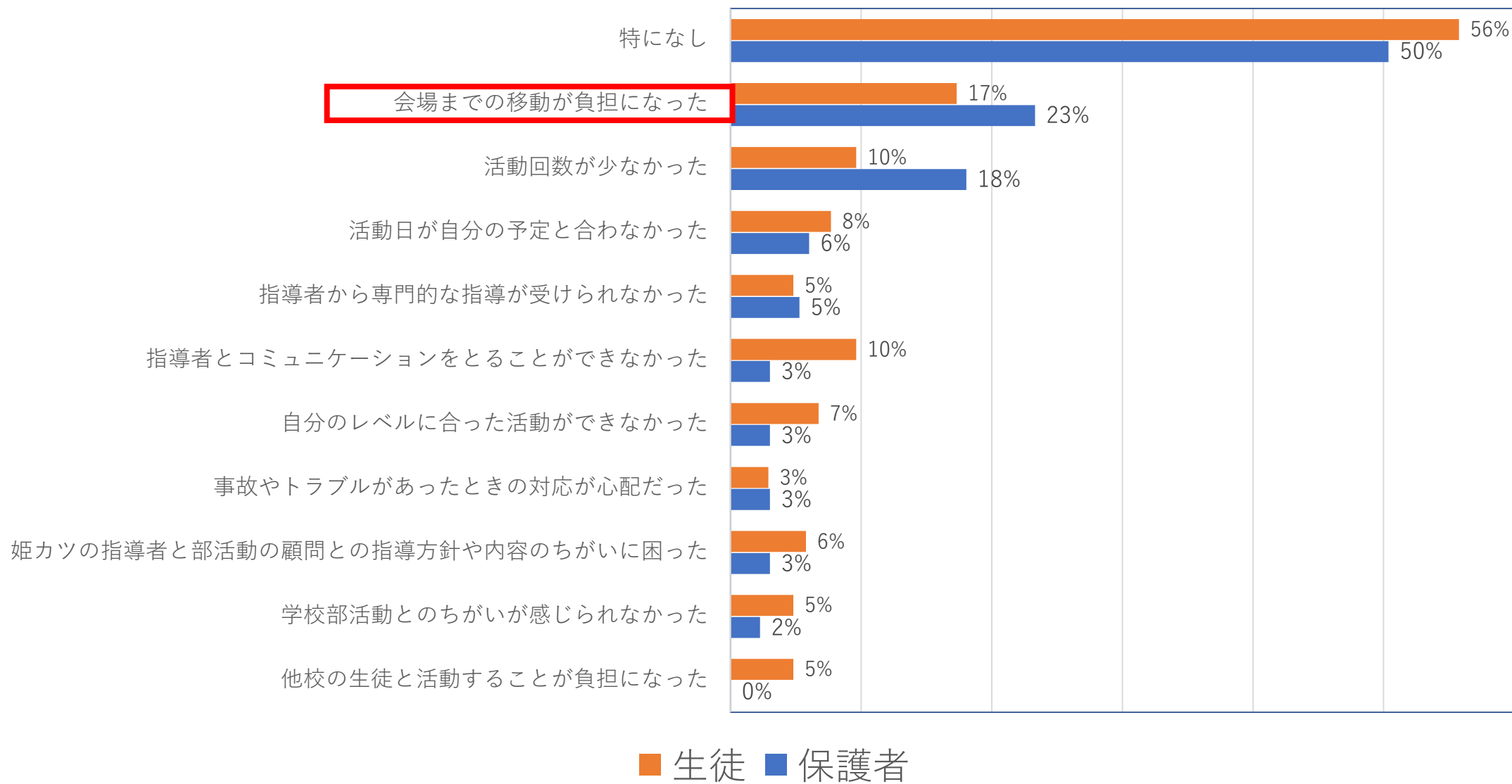
活動に参加して、良かったと思うこと ※複数選択



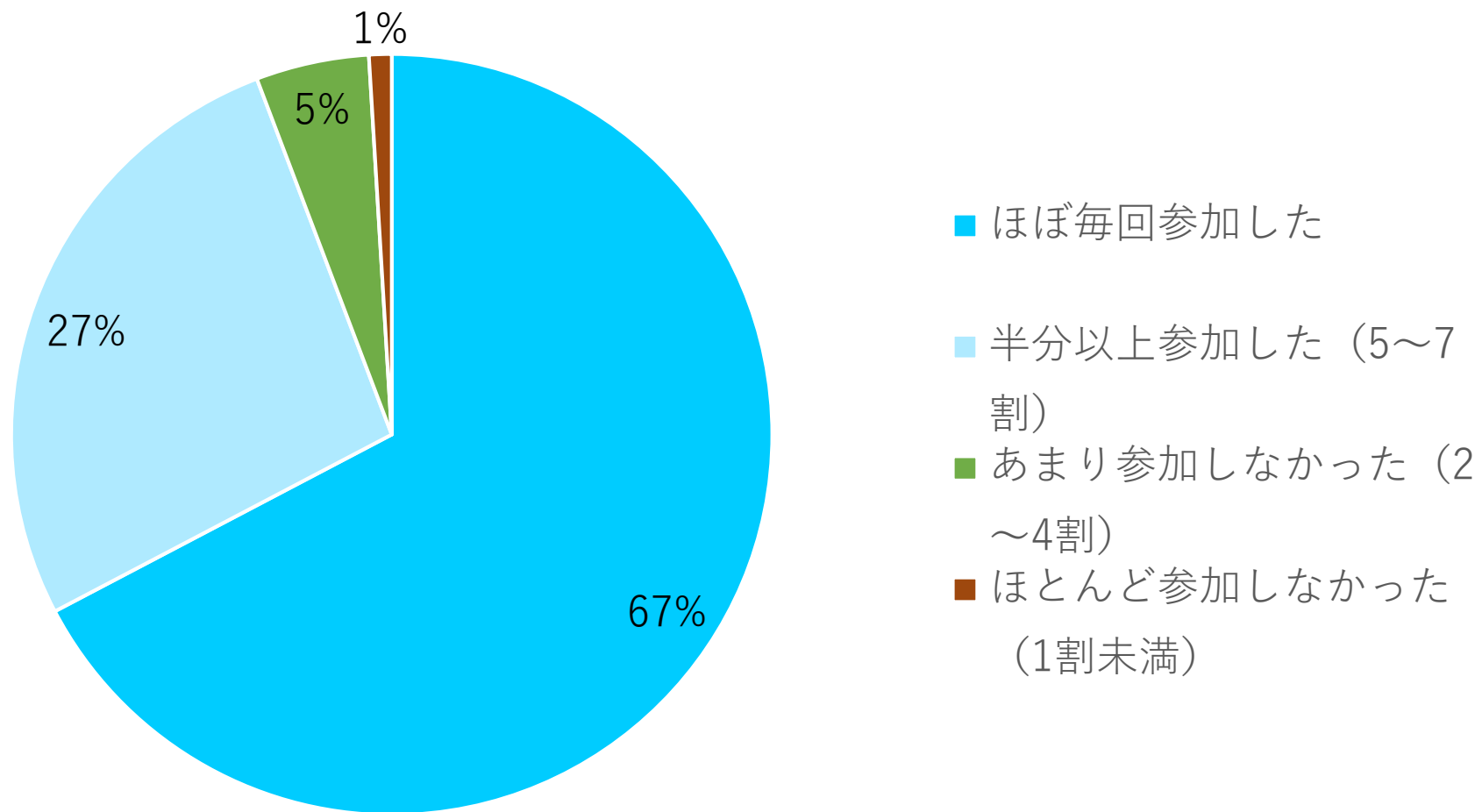
指導者として姫カツに参加して、良かったと思うこと※複数選択



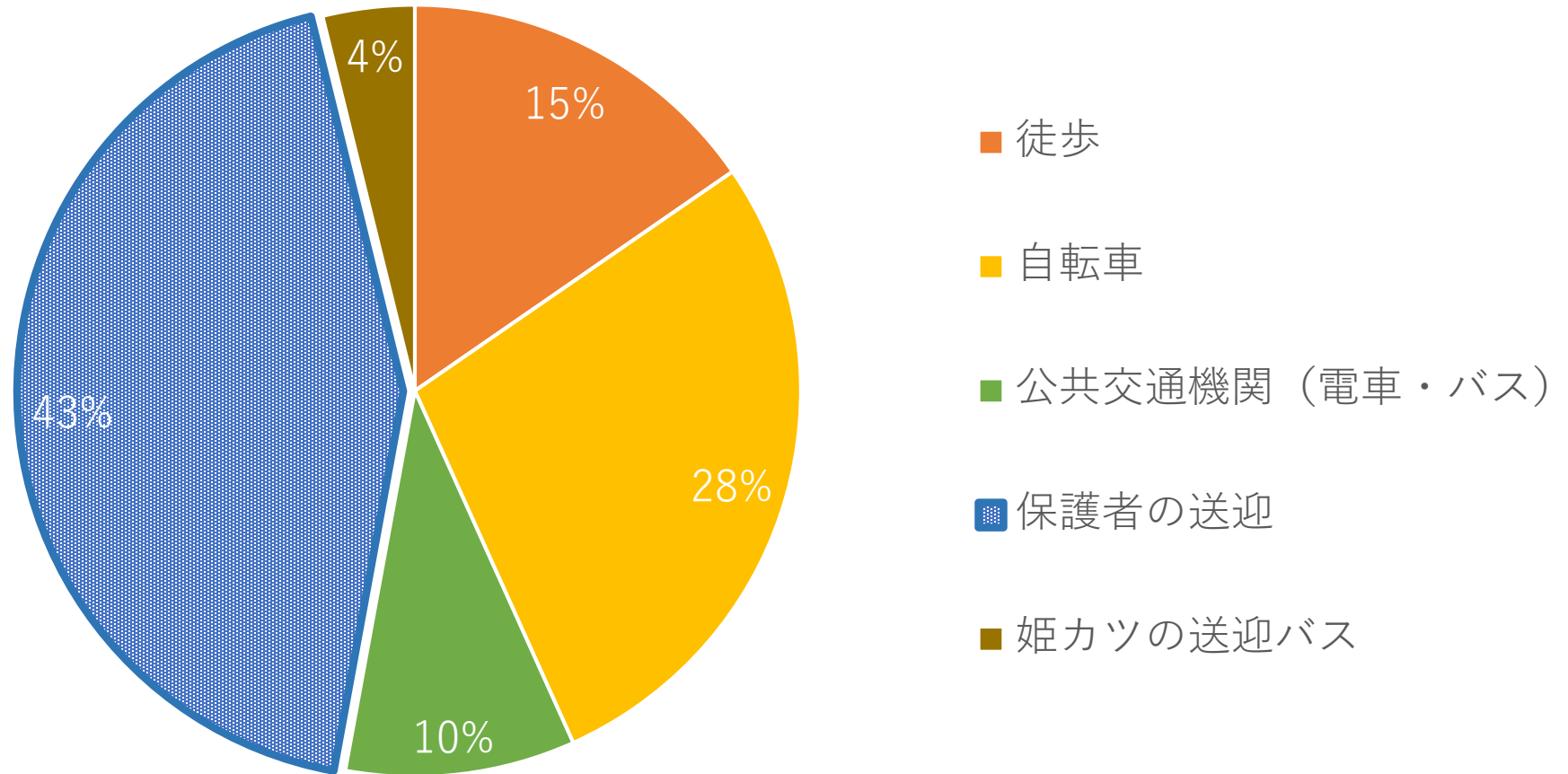
活動に参加して、不満や課題と思ったこと ※複数選択



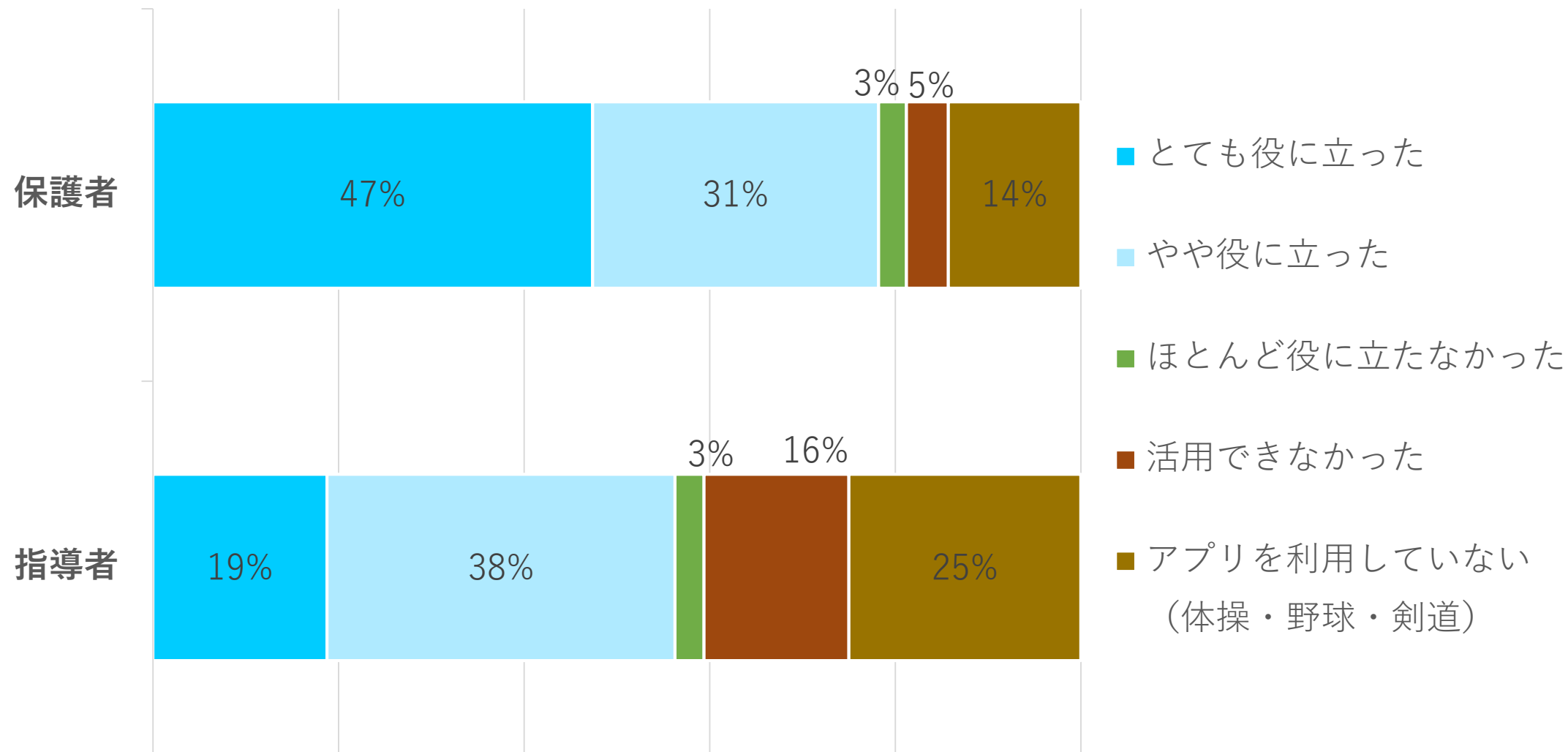
姫カツへの参加の頻度（生徒）



おもな移動手段（生徒）

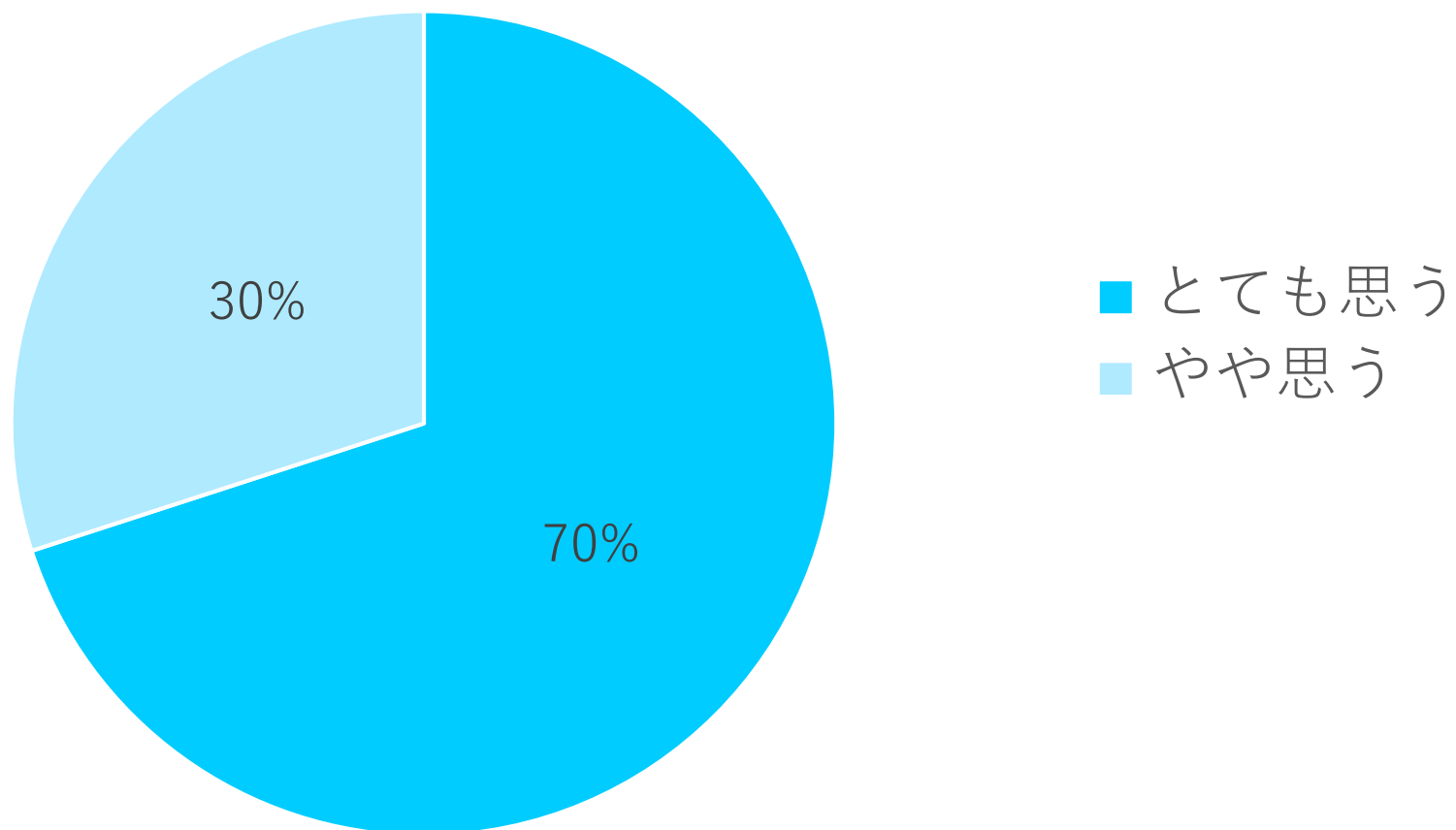


専用アプリ（Sgrum）を活用した連絡等

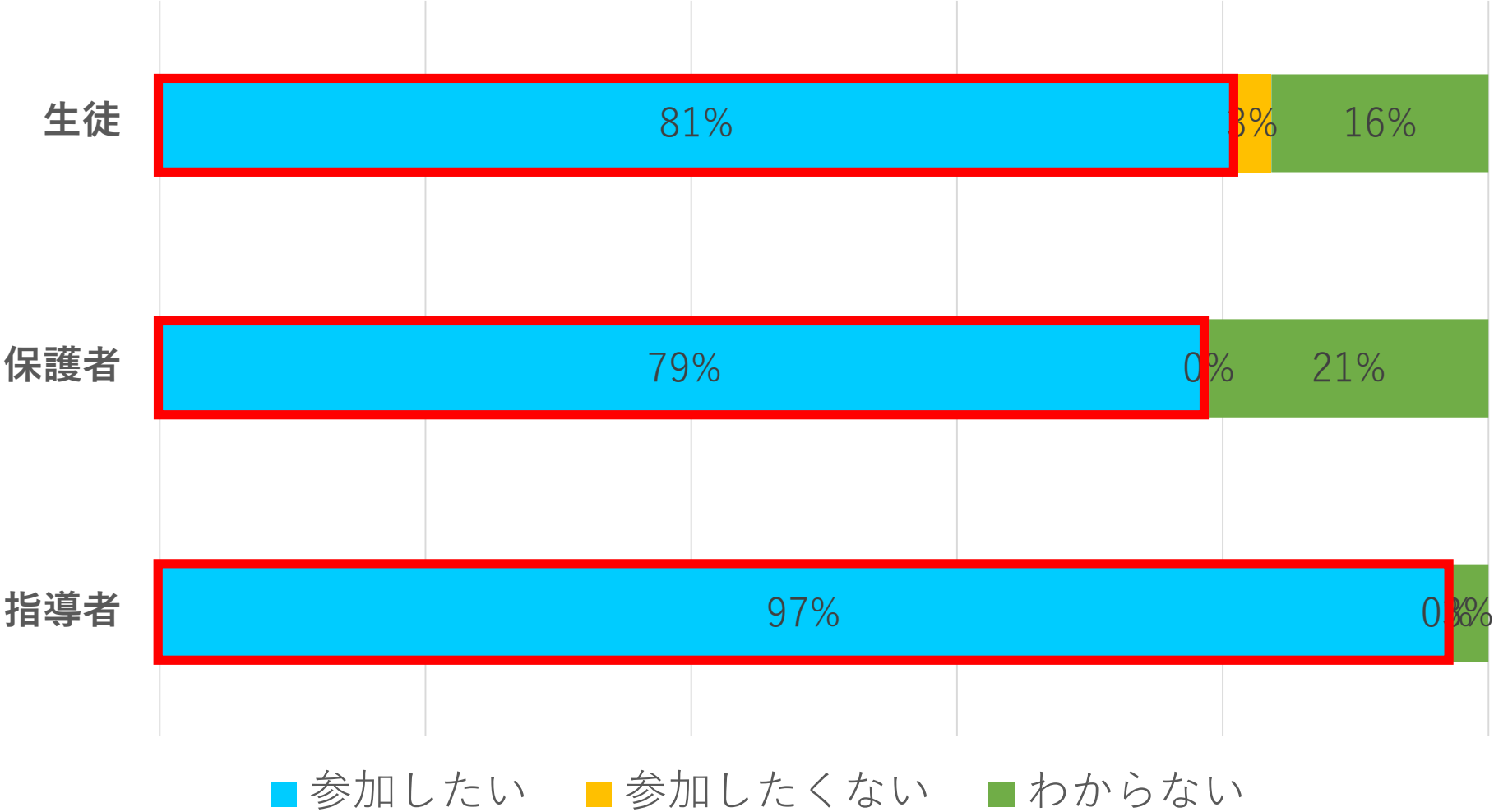


【部活顧問】

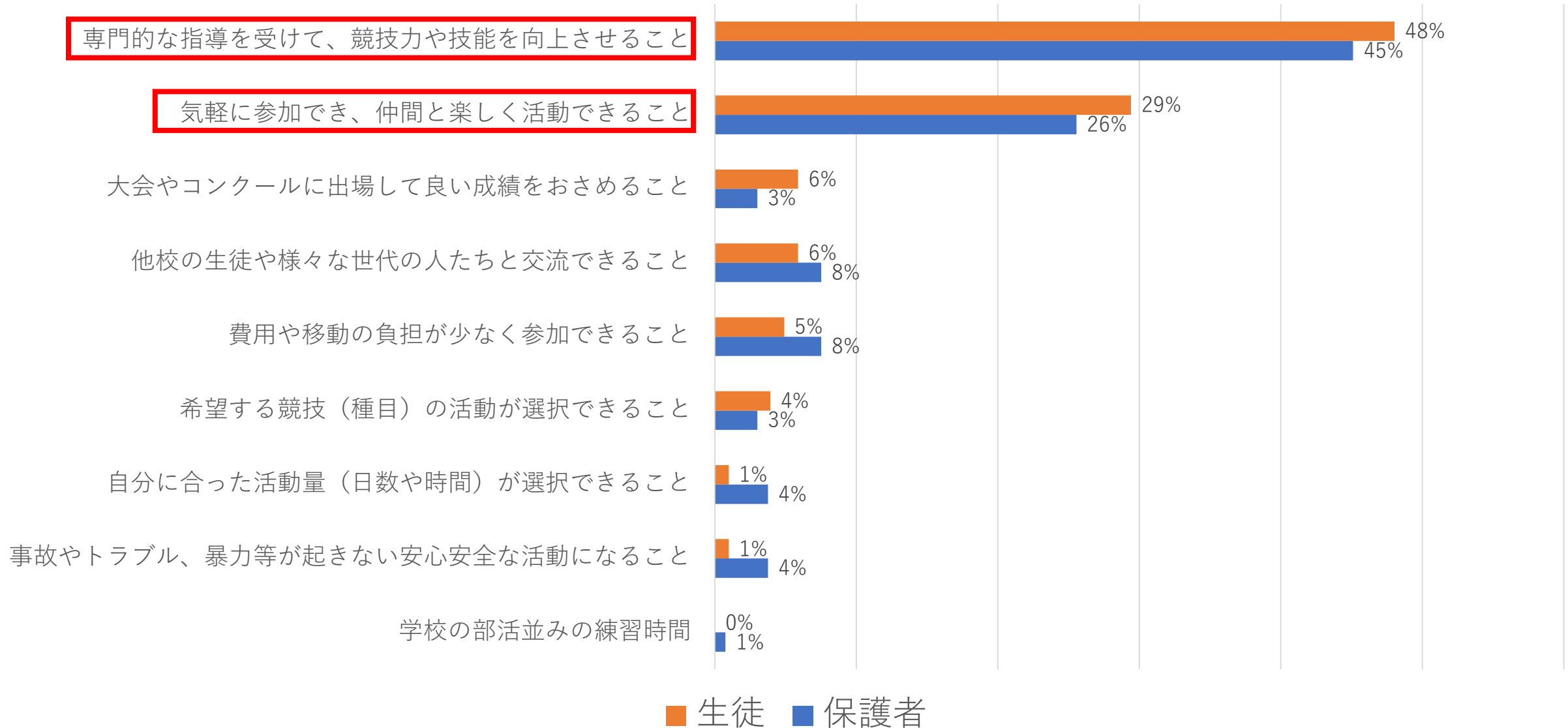
姫カツを実施したことで、自身の学校業務の改善につながりましたか？



来年度も姫カツに参加したいと思いますか？



姫カツに最も期待すること



指導者が姫カツに最も期待すること（生徒視点）



指導者が姫カツに最も期待すること（指導者視点）



【生徒】

剣道	違う年代の人達と楽しく稽古ができ、たくさん学べる事が出来たので良かったです。また、他校の人達と交流が出来て楽しかったです。
柔道	いろんな講習があって楽しかった。
水泳競技	中学を卒業するまでしたいと思います。
水泳競技	他校の生徒達と交流ができ、普段の部活とは違った経験が出来た。
水泳競技	たくさん練習ができていい時間を過ごせました。他の中学の人とコミュニケーションとれる時間があれば、もっとよかったです。
水泳競技	冬の練習は夏と違って泳げる機会が少なくて困っていたけれど、姫カツがあることによって練習の回数が増えたからよかったです。
水泳競技	いろんな学校の先生がメニューを作るので毎回違う練習ができ、とても満足しています。姫カツの活動をしてからタイムがすごい上がり、練習の成果が出ていると実感しました。第三期もできるだけ休まず参加し、もっとタイムを上げたいです。

【生徒】

水泳競技	土曜もしてほしい
水泳競技	先生の指導がとても自分に合っていた。
体操競技	顧問の先生とは違うアドバイスをしてくださり、自分のよくなかったところがたくさん見えてきて練習のときにとても参考になりました。
体操競技	指導者の方々がとても優しく的確にアドバイスしてくださったので、自分でもうまくなっていると実感できています。うまくなっていくともっと頑張ろうと思うようになり、とても楽しいです！これからも続けたいなと思っています！
卓球	指導を受けて自分の思っている練習ができてよかったと思いました
卓球	姫カツをもっとあると練習でもっと強くなれるし色々なことを学べると思いました。置塩中、鹿谷中、と一緒にラリーとか試合ができてとっても楽しかったです。昨日はありがとうございました。
卓球	強くなれたから嬉しかった

【生徒】

吹奏楽	初めて3ヶ月ぐらいだったけど、かなり技術が向上したと思った。先生たちもとても優しかった。
吹奏楽	増位の子たちと仲良く演奏できて良かったです！
吹奏楽	やっぱり大人数ならではの楽しめる活動でした 今日の姫カツコンサートに向けて、仲間と協力し一つのバンドを作り上げる、そして演奏した後の達成感がありました ライバルであり、仲間！今回の活動を通して、これからも日々部活に取り組んでいきます！！！！
吹奏楽	素晴らしい講師の先生方にご指導していただけて良かったです！
吹奏楽	指導者の方がとても優しく教えてくださった専門的な知識を身につけて上達させて行きたいと思います。
吹奏楽	姫カツで自分の技能を上げることができたし他校の生徒とも一緒に活動できて良かったです。

【保護者】

剣道	一人一人に合ったレベルで専門の指導者の方に指導してもらえるので大会でも成績を残すことができます。
水泳競技	技術力向上だけでなく、他校生徒との交流が子供の大きなモチベーションになっていました。指導するコーチたちも専門的な内容で、複数人で対応いただけたのが非常に良かったです。来年度も参加させていただきます。
水泳競技	練習メニューをアプリで知らせてもらえて良かったです。子供は目標を持って楽しんで参加できていたので今後も応援したいと思っています。
水泳競技	今回3回目の参加でいつもくたくたで帰って来ますが、姫カツに参加してからタイムが縮んできました。本人もそれが嬉しくて出来る限り参加したいようで、有意義な時間を過ごしていたようです。 このような機会を作って頂き親としてもありがたいです。次回もよろしくお願いします。
水泳競技	今回参加させて頂きレベルの差を実感しました。姫かつに参加することで向上心をもって少しでもレベルアップできればと思います。 毎回練習についていくだけで精一杯でコミュニケーションをとる余裕はなかったように感じました。

【保護者】

吹奏楽	毎回、どんな活動だったかを話してくれるので、楽しんで参加している様子でした。担当のパートが、入部以来先輩も後輩もおらず、一人でやっていたので、同じパートの子がいるという状況が嬉しいと言っていました。 少人数で活動していたので、演奏できる曲にも限りがありましたが、姫カツでは大編成で演奏する曲にもチャレンジでき、コンサートでは今までになかった迫力がある演奏を楽しませていただきました。
吹奏楽	他校との交流が持てた事、専門の指導者がおられて指導受けれた事がよかったと思います。現在2年生で次からの参加はありませんが、できる限り専門の講師の先生に教えてもらえれば学校での部活動が楽しくなっていくのではないかなと思いました。
吹奏楽	専門の講師の先生から教えていただけることでさらに音楽が大好きになったようです。ありがとうございました。
吹奏楽	はじめは他校に行き活動に参加することを渋っていた娘でしたが、第1回目を終わると「友だちができた！」と大喜びでした。新しいお友だちは学年は違いましたが、同じ楽器を担当しており、相談したりアドバイスしてもらったりと仲良くしてもらい、親としてもとても嬉しいです。またコンサートもとても楽しかったです。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

【保護者】

水泳競技	部活動を通して、自分の学校外の交流を持てたのはとても良い経験になったのではないかと思います。 これから送迎等の親の負担が改善できれば非常に助かります。
水泳競技	姫路駅や東姫路駅周辺のプール施設でないと、交通が不便である。 親が送迎ありきな施設が多い。
卓球	今後平日の部活動が地域移行したときの、学校から練習場所までの移動手段がどうなるのか気になります。今は学校の体育館を使って無料で練習できますが、人数が少ない地域になると練習場所まで遠くなる可能性があるため。
卓球	活動を始める前に、もう少し内容について教えて欲しかった。活動の様子などを掲載して貰えるといいかなと。
卓球	菅野中学生ですが、自転車置き場を考えてほしいです。人通りが少ないバス停なので鍵をかけていても取られないかと心配でした。バス停に停めるのを学校の一角を借りて置くとかにしてもらえれば安心です。 活動自体は賛成です。
卓球	もっと色々な競技を増やしてほしい。 鹿谷中、野球がなくなってしまったけど、姫カツで復活してほしいです。

【保護者】

軟式野球	平日の部活動なみの活動日があって欲しいと思います。 今は週一回で、学校では部活に入っています。 野球もしたいけれど、週一では少なすぎ、土曜日の部活とも練習時間が重なり、殆ど参加できず残念でした。
軟式野球	指導者の方の予定と学校の部活動の時間が重なりあまり参加出来ていない。 曜日や時間帯がズレれば参加しやすくなるのですが、、、
軟式野球	部活動の代わりという事なので、指導者の確保は大変だとは思いますが、部活動と同じ様にほぼ毎日放課後の活動があってほしいなと思います。

【保護者】

吹奏楽	楽器を学校から持って帰る際、楽器が大きいので毎週送迎が必要でした。 現場に十分な楽器を確保できれば助かります。
吹奏楽	今後姫カツに参加する上でどのくらいの費用がかかるのかが気になります。費用が高いと習い事と変わらないので、中学校の部活としての範囲内の費用の負担にして欲しいです。高額になると部活自体しないという選択肢も出てくると思います。でも部活でしか経験できない事もあるので親としては参加して欲しいし、お金がかかってくるとなると悩ましい所です。
吹奏楽	今回吹奏楽での参加でしたが、子供の担当する楽器の先生がおられなかったこともあり、パート練習などでも特に教えてもらえることもなかったと聞いています。 3ヶ月という短い期間でしたが、先生が固定されてしまうと自分の担当楽器の先生がおられるパートの子供達は直接指導を受けることが出来ていいかもしれませんが、そうでない子供は学校での部活動とあまり変わらないと思います。 子供本人も同意見です。 そういう意味では、費用を払って他校に出向いてまで姫カツに参加させたいとは思いませんでした。 せめて月替わりなど、色々なパートの先生に来て頂け、参加する生徒みんなが自分の担当楽器の先生から直接指導を受けられる機会があるようにしてほしいと思います。

【姫カツ指導者】

水泳競技	部活動が無くなる、という見通しが出て、姫カツが始まりました。協力してくださる指導者は増えており、ありがたいことです。一方で、自分の専門外であることを理由に、姫カツに参加されない先生方がとても多いのも事実です。この傾向が続くなら、ご自身がスポーツに親しまれていなければ、今後スポーツの指導には一切関わらない人たちが増えていくのでしょうか？そうすると、日本のアマチュアスポーツの未来は・・・。姫カツが持続可能な活動になることを祈っています。
体操競技	指導法をお互い話し合いながらできることは、参加生徒の競技向上に繋がるだけでなく、自分の指導スキルアップにもつながる。小学生も参加してみたいと体験に来ている。広報の動画が姫路市の多くの小中学生に認知してもらえることを期待している。
剣道	大会等の打合せ、集まり事の日程調整に悩まされます。我々会社員として参加させて頂いてる事から、教職員の日程に合わせるのが困難です。

剣道	姫カツに参加させて頂き剣道という専門性の高い競技の中で指導者として姫路市からご支援を受けて子供達と一緒に有意義な活動ができた事大変嬉しく思います。 今後も益々子供達が自由に自分達で選択した競技に大いに取り組んでいける環境作りに尽力し適正、的確な指導を行い子供達とともに成長できたらと思います。 一点活動する上でかなり大きな弊害を感じました。 中体連の活動に入っていく事で学校の先生方と同じように大会、顧問会、抽選会、研修会、また夏休み、冬休み、春休み中に行われる試合や練習試合があります。 上記のものはほぼ全て平日に開催されます。 我々会社員はこのすべての行事に有休で対応して参りました。学校の先生方のように業務の一環、出張となる訳ではないのでこの会社を休んで行事に対応しなければならない事に大きな弊害を感じました。 学校の先生方は部活対応、休日対応や出張対応など別途報酬が発生しているとお聞きしました。 ここに大きな違いがあると思います。 子供の保護者さんもまた同様に会社員やパートの共働きの方が大半を占めるため平日の送迎などが困難を極める状況にあるなどの声も挙がってきました。 今後、地域移行や地域展開を進めていく上で地域の指導者や保護者に対しても寄り添う対応、施策があれば良いなと感じました。
柔道	活動自体は大変楽しかったし、満足している。 ただ、以前からあるような合同練習のような感覚は否めなかった。学校ごとに動いているためであると考えられるが、、、継続していければ、それは払拭できそうな気がする。このまま継続を期待したい。

柔道	協会の理解を得て、中学生だけでなく多くの人に参加してもらったことは大きな意味があり、新しい形を示すことができたと思います。 各指導者のつながりを活かして、様々な講習ができたことも良かったです。 柔道の指導からしばらく離れていましたが、生徒や指導者と久々に関われる機会ができ、新たな出会いや再会もあり、自分自身の余暇の充実にもなりました。 今後の課題として3点書かせていただきます。 ①参加者の安全管理に対する責任の所在を示し、姫カツとして責任範囲を明確にして、あくまでも参加申込をした中学生のみとする。 ②無理のない形で持続させ、生徒の移動の負担も考慮して、ブロック単位での実施も取り入れる。 ③中学生を中心とした活動と、多世代での活動をバランス良く実施していく。
柔道	土曜日のみの開催であったので、仕事の都合で来れない指導者がいたのが残念。 また、部活動では体験できないことができたのでよかったと思う（技の講習会やトレーニング指導） 今後は、姫路市全体で行うことを月に1～2度程度を行い、今部活がある朝日、山陽、灘地区や北部などの拠点で全体が集まらない時に活動ができると良いと思う。 その拠点で平日も指導ができれば、地域クラブ活動にスムーズに移行できると思う。 問題は、人がどれだけ集まるかとお金の問題だと思う。生徒の月謝に全額は無理でも、姫路市が半額程度補助金を出すなど行くと良いと思う。 柔道は、競技人口が少なく学校部活動が底辺を現在支える形になっている。それに代わるものを是非作って欲しいと思います。
卓球	男女混合であり、また出席数・技量の違いなど不安定要素はあるが、生徒らの意見を取り入れて楽しく、そして有意義な活動にしていきたい。
卓球	夢前地区は、参加する為の公共の交通手段の確保が課題です。

吹奏楽	取り組みはとても良いものとは思いますが、継続するにはまだまだ課題の多いものだと感じました。 今回は学校の校舎をお借りしましたが、練習場所の確保や楽器の準備、保管場所。 今後部活動を完全に移行すると考えると、現実的にどうなのかは、少し不安に思う点もあります。 ただ、人数という面では、演奏出来る曲の幅が増えるなど、メリットも多くあると思います。 色々と解消しなければいけない課題は多いかと思いますが、生徒たちにとってより良い活動になるよう期待しております。
吹奏楽	生徒が積極的に練習に取り組んでくれたことがとても印象深かった。できれば次はもう少し長い期間じっくり取り組みたい。 吹奏楽に関しては学校の設備を借りざるを得ない部分が難しく感じた。
吹奏楽	短期間でミニコンサートに向けて数曲仕上げるという内容でしたので、合奏やパート練習内に曲を細かく見る時間が少なく感じました。又、初めての試みもありましたので、運営面(出席確認・連絡事項)をスムーズに進めさせたらもう少し練習に充てる時間ができたのではないかと思います。 今回は市教委さんの方で楽譜購入,楽器修理の費用を出して頂き、山陽中学校から足りない楽器を貸していただき本当に助かりました。ありがとうございました。 (姫カツが本格的に動き出される時に)費用の出処や足りない楽器の貸出がどうなるか、今後の動きが気になるところであります。

【参加校の顧問】

吹奏楽は室内で活動を行うために、学校を使用するとなると、色々な制約が発生します。また、講師の先生方は技術を教えるのには慣れておられますが、生徒を把握して秩序正しく導くにはなかなか難しいことも多々あり、講師の方々の事前研修を要するのではないかと思います。セキュリティ問題も難しいものがあり、楽器や楽譜の手配、修理、今後吹奏楽コンクールや地域行事をどうしていくのか、今回は講師料が無料でしたが今後どうするのか、その会計は誰がするのか等々多大の問題が山積しています。

今回参加した本校の生徒たちは笑顔で楽しみにしていましたし、他校の生徒に触発されて、また素晴らしい講師の方々に恵まれて技術の向上が著しい良い面も多々ありました。

しかしながら平日は部活動、土日のみの姫カツは曲の練習のギャップや負担もあり不安でした。姫カツに移行するのであれば、平日も含めての活動にして欲しいのが本音です。市教委の先生方には本当にお世話になりました。ありがとうございました。

4回の姫カツの日に部活の負担がなくなり、ゆっくりと自分の時間を過ごすことができました。ありがたく感じています。

自校の生徒を指導していただく形でしたが、前もって指導者との打ち合わせができていればよかったと思いました。

いきなり指導者に任せる形になってしまったので、生徒の実態や競技のレベルも他の学校とはちがう部分もあり、指導者の負担になったかもしれません。

- ◆ 昨年度の2事業(競技)から文化部を含む7事業(競技)へと拡大展開し、年間を通して事業を実施することができた。
- ◆ 実証事業をとおして、各事業における課題や懸案事項を市教委・学校・実施団体・指導者が協議して解決を図りながら事業を実施した。
- ◆ 重点地域の政策課題に取り組むことで、既存の部活動の枠に捉えられない新たな活動の在り方について関係者と検討し実践することができた。また、スクールバスの活用した実証に取り組み、全市で展開する上で想定される移動の負担の課題解決に向けたアプローチをすることができた。
- ◆ 文化部においては、校舎内教室の利用や学校備品である楽器の使用、楽器の確保や楽譜の準備などスポーツ活動とは異なる準備や配慮などの特有の課題解決に向けた実証ができた。

- ◆ 姫カツ実証事業の実施主体が協会に加えて、**新規設立団体、既存団体、指導者派遣型と多様なモデル**を示すことができ、7事業で延べ244名（26校）の生徒、62名の指導者が参加し、参加者・指導者共に昨年度の比べ、**より多くの人が姫カツに関わるきっかけ**を作ることができた。
- ◆ 専門指導者による指導や複数指導体制で実施することで内容が充実し、参加者への事後アンケートにおいては、活動の満足度や競技力向上に関する項目で90%以上の肯定的回答を得ることができた。
- ◆ 実証事業に参加した指導者へのアンケートにおいても、活動の満足度や中学生や指導者同士の交流の項目で、90%以上の肯定的回答を得ることができた。

- ◆地域展開の推進と制度設計、統括団体としての役割を担う専門部署や運営事務局の設立、専属職員の配置により、**姫カツの運営主体と実施主体の役割を明確にし、運営事務局の組織的体制を確立**することが必要である。
- ◆ハラスメント防止や安全管理など、**統括団体による管理運営体制を構築**し、指導者研修や相談窓口などにより安心安全な活動を保証する必要がある。
- ◆保護者送迎の負担を軽減し、生徒ができるだけ自力で通える範囲で活動を実施するために、各競技において**多くの活動の場を確保**する必要がある。
- ◆山間部や島しょ部では移動の負担が大きくなるため、競技ごとではなく、包括的な地域展開による活動体制を構築する必要がある。
- ◆本格展開に向けて、保護者に理解を求めるためにも改革の趣旨や姫カツの理念や活動内容、費用負担について、**より丁寧に伝える**必要がある。

今後に向けて



- ◆ 令和8年9月からの休日の姫カツ本格展開に向けて、活動の概要や登録要件を整えて、令和7年度に**実施団体や指導者を募集して、活動単位・場所の調整・決定**を行う予定である。
- ◆ 持続可能な運営体制の構築に向けて、統括団体として姫路市教育委員会事務局内に**姫カツ運営事務局を設置し、運営管理のための組織体制やノウハウの蓄積**を行い、**統括団体と実施団体との役割分担**や、実施団体の自走を可能にする運営体制の構築を目指していく。
- ◆ 受益者負担による運営を目指しつつ、困窮世帯家庭への支援体制や民間資金の活用、活動における学校施設や備品の活用など、**参加家庭の負担軽減策について**も検討する。